年間授業計画　新様式例

# 高等学校 令和５年度（２学年用） 教科　工業：デュアルシステム　科目 工業実践応用

教　科：　工業：デュアルシステム　　科　目：　工業実践応用　　単位数：　4　単位

対象学年組：第　2 学年　5 組

教科担当者：（　５組：樋口和也　野澤幸裕　渡辺伸宏　市村茉莉子　村里光貴　田村文　中村天奎　）

使用教科書：（　　）

教科　工業：デュアルシステム　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】企業において自分の能力や資質にあった活きた技術・技能を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】ものづくりの基本的な考えを身に付け、地域社会および企業等との連携を重視した実践力や専門性を高める。

【学びに向かう力、人間性等】社会の変化に対応できる能力や自ら学び、自ら考える能力を養う。

科目　工業実践応用　　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 企業研修を通し、職業人として必要な知識・技術・技能を理解し、活用することができる。 | 企業研修を通し、修得した知識・技術・技能を業務日誌等でまとめ、他者に正しく伝えることができる。 | 企業研修を通し、企業で求められる勤労観・労働観を有し、行動することができる。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | | | | | | | |
| 2学期 | 1.受け入れ企業の経営方針等が理解できる。<br>2.企業研修中の作業工程が理解できる。<br>3.企業研修を実施するために必要な作業機器が理解できる。<br>4.企業研修における作業の計画、準備及び振り返りができる。<br>5.企業研修をとおして、進路について考えることができる。 | 1.受け入れ企業で働く人とコミュニケーションを図るとともに、企業の経営方針や重要性を理解するように努めるように指導する。また、就業規則の重要性についても理解させる。<br>2-1.製品の製作工程等を観察し、必要に応じてメモ等を行えるように努めるように指導する。<br>2-2.実習で行う作業工程が製品等の製造においてどのような部分を担っているか理解を深めるよう指導する。<br>3.各工具、機器等の名称や用途について理解を深めるよう指導する。<br>4-1.就業するうえで計画を立てることの大切さを指導するとともに、準備の重要性について理解させる。<br>4-2.企業研修を通し、修得した知識・技術・技能を業務日誌等でまとめ、他者に正しく伝えることができるように指導する。<br>5.経営方針、職種、就業規則、業務内容等について、１年次インターンシップ、２年次工業実践基礎で体験した企業等と比較し、自身の進路について考えるように指導する。 | 1.遅刻、欠席、早退等の欠課数及び成果発表への取り組み<br>2.企業の担当者と教員の評価（評価表、企業訪問、電話連絡等での聞き取り、企業訪問時の就業の様子等）及び成果発表への取り組み<br>3.報告書の記述内容や出来栄え及び成果発表への取り組み | ○ | ○ | ○ | 80 |
| 3学期 | | | | | | | |
| | | | | | | | 合計<br>80 |